

## レポート作成に関する共通ルーブリック

|        | 課題に対する内容<br>(%)                       | 論理的思考・説明<br>(%)                              | 文章表現<br>(%)                                                     |
|--------|---------------------------------------|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|
| 観<br>点 | 課題の内容を的確にとらえ、しっかりとした考察が<br>できているか。    | 論理的で説得力のある主張を組立てて<br>いるか。根拠に妥当性があるか。         | レポートとしての体裁が整っ<br>ており、文章表現（文法上の<br>誤りや誤字脱字、仮名遣いの<br>誤りがない等）が適切か。 |
| S      | 課題の内容を十分に理解<br>し、しっかりとした考察が<br>できている。 | 妥当な根拠に基づき、正確かつ論理的で<br>説得力のある主張を行っている。        | 体裁は十分に整っている。文<br>章表現も十分に適切で、違和<br>感なく読み進めることができ<br>る。           |
| A      |                                       |                                              |                                                                 |
| B      | 課題の内容を理解し、考察<br>ができている。               | 妥当な根拠に基づく論理的な主張を行<br>っている。                   | 体裁は整っている。文章表現<br>はおおむね適切である。                                    |
| C      | 課題の内容の理解が不足し<br>ている。考察も不足してい<br>る。    | おおむね妥当な根拠に基づく主張を行<br>っているが、論理性に欠ける部分があ<br>る。 | 体裁はおおむね整っている。<br>文章表現は適切でない箇所が<br>多く、改善すべき点がある。                 |
| D      | 課題の内容を全く理解して<br>いない。                  | 全く論理性がない。根拠となる情報も妥<br>当性がない又は意味を取り違えている。     | 体裁が整えられていない。文<br>章表現は大幅に改善する必要<br>がある。文意もつかみづらい。                |

## 発表・プレゼンテーションに関する共通ルーブリック

|        | 内容<br>(%)                                   | 構成<br>(%)                      | 情報の伝達<br>(%)                                                      |
|--------|---------------------------------------------|--------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 観<br>点 | 課題にそった調査・研究が行われ<br>ているか                     | 伝えたい内容が論理的で説得力<br>のあるものになっているか | 発表の際に活用する資料（レ<br>ジュメや図、統計等）や言葉<br>の選び方など各種表現が発表<br>を効果的なものになっている。 |
| S      | 課題に沿って十分に調査・研究が<br>行われている。                  | 十分に論理的に構成され、十分<br>な説得力がある。     | 資料は十分に適切で、表現方<br>法も十分に効果的である。                                     |
| A      |                                             |                                |                                                                   |
| B      | 課題に沿って調査・研究が行われ<br>ている。                     | おおむね論理的に構成され、説<br>得力がある。       | おおむね資料は適切で、表現<br>方法も効果的である。                                       |
| C      | 課題に沿って調査・研究が行われ<br>ているが、不足している。             | 論理的な構成が不足しており、<br>説得力も不足している。  | 資料の選択や表現方法を改善<br>する必要がある。                                         |
| D      | 調査・研究内容が課題に沿って<br>いない。又は調査・研究が全く不足<br>している。 | 論理的に構成されておらず、説<br>得力が全くない。     | 情報の伝達技術全体を大幅に<br>改善する必要がある。                                       |

＊このルーブリックを使用して評価する際は、あらかじめ学生に基準を提示することが望ましい。

＊評価基準や観点は、授業担当者が授業内容に応じて追加削除を行ってもよい。

＊評価割合「(     %)」は観点ごとの合計で 100%になるよう設定する。